

- 自分が臨床で働いた際には、患者さんの思いや価値観等に寄り添って、good ナースになれるように頑張りたいと思いました。「時間がない」という言い訳をしてしまう事を、反省しました。
- 自分が整っていないと患者さんに対して笑顔で接することが出来ないというお話を聞いてとても共感しました。働く際は、十分な食事や睡眠をとって看護したいと思います。
- 看護はどういう事が起きるかを想定して、患者さんの話しを傾聴したり、表情などを観察することで、本質や問題が表面化することを改めて理解しました。また、病気が治ることで、満足度が得られる（高まる）と思っていましたが、治るだけでは満足度が低いこともあるし、完治していなくても、患者に寄り添い看護を行っていくことで、満足度が高まることも理解できた。
- 内面から美しい人になれるよう、思考や行動から変えていきたいと思いました。皮膚科で働いてみたいと思いました。当たり前な事、基本的な事をしっかり行っていきたいです。
- 患者に寄り添い、適切な治療補助ができるようになりたいと思いました。GoodNurse になりたい！患者が治療継続でき、またセルフケア能力を高める事ができるよう、人間力を磨いていきたい。
- 基本を大切に、それぞれの患者さんが望んでいることを考えながら、寄り添っていきたく思った。正しい情報が確認することを意識して、患者さんに誤った情報や不安を与えないようにしていくことも大切だと感じました。夢は逃げない、逃げるのは自分という言葉が響きました。目標はあるのに、何だかんだ理由を付けて、自分自身に向き合わないことが多いのに気付きました。
- 患者と向き合うことの大切さを改めて学びました。看護師として、その患者さんのプラス・マイナス両方の気持ちに気付けるよう、今日の学びを活かしていきたい。
- 患者の言葉、1つ1つに注目し、どの様な意味、意図があるのかを考え、対応する必要性を感じました。自分に言い訳をしないで、国家試験の勉強を頑張ろうと、強く思った。
- 「信頼関係」と「友達関係」は大きく異なること。患者に対しての態度や言葉遣い、視線なども意識して、「信頼関係」を築くことができる看護師になりたいと思った。また、自分も目配り、気配りなど、当たり前な事、ささいな事も、意識して生活したいと思います。
- 自分が看護師として患者さんと関わる際に、患者さんの言葉や表情を読み取り、どの様な思いを抱えているのか、病気をどのように受け止めて、今後どうなりたいのかを自分が理解して対応することが大切だと感じました。また、チーム医療の中でも相手の視点に立ち考える事が重要だと思いました。
- 特に印象に残ったのは満足度のお話でした。今後は、患者さんとの関わり方を大切にしていきたいと感じました。また、きっと役に立つ3つのことは日常生活でも活かせると思いました。これから看護の道を進むうえで、大切なことを今回の講演で学ぶことが出来ました。
- 事例を聞いて、医療者と患者の間にある満足度の差を知り、医療者が果たすべき役割として、真摯な姿勢、誠意を持って向き合うことがたいせつであると学びました。疾患の診断が未確定の場合、想定された疾患に基づいて、必要な情報を取ることが大切であり、それに対する学習、知識、アプローチ法も必須だと思いました。
- 様々な視点について学ぶことができ、とても勉強になりました。視点を増やすことで、たくさんの事に気づき、患者にもっと寄り添えてよい看護が提供できると学びました。柔軟な思考をしていきたいです。